

授業科目名	知と表現のデザイン 2	担当教員	古賀 弥生・西崎 伸子・ 荒木 利雄・今井 祐子・ 瓶内 栄作・李 知映・井 原 麗奈
必修の区分	必修		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	専門演習への導入として、各専攻の学問分野における基礎的な文献の検索・収集・読解について学修する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・専攻の学問分野における基礎的な文献の検索・収集・読解ができる。 ・研究手法、論文・報告書等の執筆に関する基礎知識を修得する。 		
授業計画	<p>(1 回目) ガイダンス 授業の進め方の説明とコミュニケーション、2 年次の学びをプランニングする</p> <p>(2 回目) 学修計画 卒業研究を展望した学修計画を立てる</p> <p>(3 回目) データや資料の検索について (学術情報館の使い方) 専攻の専門分野に係る文献の検索方法等に関するガイダンス</p> <p>(4～5 回目) アカデミックリーディング 専門分野の基礎的な文献や論文を読む</p> <p>(6～8 回目) アカデミックライティング 小論文の書き方を学ぶ</p> <p>(9 回目) 理論と実践のラーニングブリッジ① キャリア形成を展望し、社会人基礎力の身につけ方を考える</p> <p>(10 回目) 専門分野における研究・活動を知る 各専攻の教員の研究や活動内容を通して専門分野における知見を広げる</p> <p>(11 回目) 理論と実践のラーニングブリッジ② 臨地実務実習での学びに関する基礎知識を修得する</p> <p>(12 回目) 総括 第 1 クォーターでの取組みを振り返り、専門演習への展望をまとめる</p>		
事前・事後 学習	クラス担任の指示により、事前に提示された資料等の学修、事後の課題に取り組む。		
テキスト	クラス担任が適宜指示する。		
参考文献	クラス担任が適宜指示する。 芸術文化専攻は古賀弥生『芸術文化と地域づくり—アートで人とまちをシェアせに—』(九州大学出版会、2020)を通読することを推奨する。		
成績評価 の 基 準	授業への参加姿勢 50% 課題提出 50%		
履修上の注意 履修要件	遅刻・欠席の連絡は必須とする。		

実践的教育	該当しない。
備考欄	2025年カリキュラム：2025年度以降の入学生のみ履修可 (2021年～2024年度入学生：履修不可)